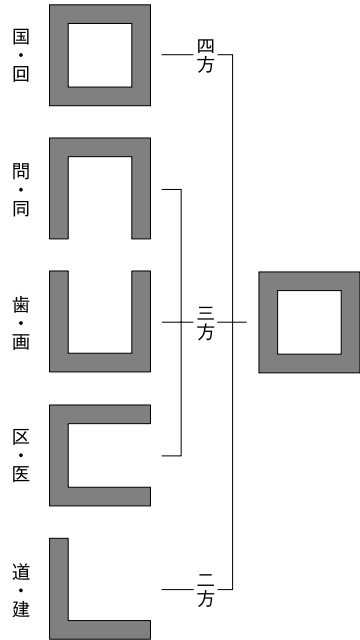


書写の要素 字形：内外の組み立て方のポイント

山梨大学教授 宮澤 正明

今回から、たれ、よう、かまえなど、二・三・四方
向から囲む漢字、すなわち内外の組み立て方を取り上げ
ます。

内外の組み立ての漢字数は左右の組み立てや上下の組
み立ての漢字に対して少なく、小学校で学習する漢字の
一割にも満たません。しかし、いずれも複雑な構造をし
ているだけに字形を整えて書くのは難しいといえるでし
よう。まず、これらの構造を図で示します。



内外の組み立ての学習は、それぞれの構造を概念図で
記憶することから始め、次に実際に書きながら細かいポ
イントを確認する方法がよいと思います。最初から具体
的な文字例に入ると、組み立て以外の筆使いや要素が入
りこみ、学習の焦点化を図ることができません。

○四方を囲むかまえ「くにがまえ」

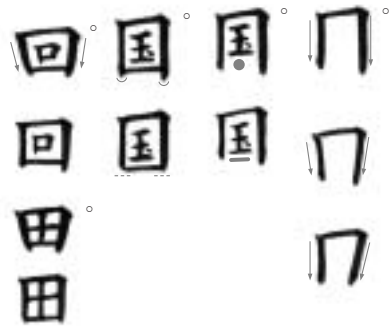
四方を囲むかまえの代表である「くにがまえ」を整え
て書くポイントをあげてみましょう。

「くにがまえ」は、縦長の概形になるので、左右の縦
画（部）は垂直で平行にします。

一・二画目を書き終えた後の内部は、内部空間のやや
上に位置するように書きます。

そうすることによって、最後の横画を書くとき左右の
縦画の終筆が外に出てしっかり閉じることが出来ます。

「回」字は「くにがまえ」ではなく、その固有の形は
「田・由」などと同じように横広になり、左右の縦画
は内側に向かいます。

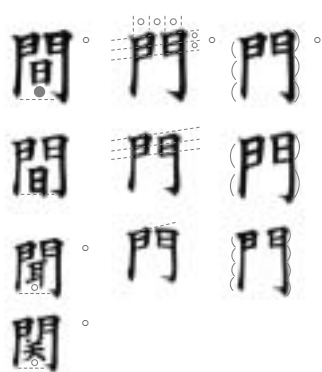


○三方を囲むかまえ「もんがまえ」

三方を囲む形の代表は「もんがまえ」です。もんがまえ
を持つ学習漢字は、小学校では九文字しかありませんが、
学校生活の中で使用頻度が高い熟語の中に多く用いられ
ています（校門・問題・時間・新聞・開閉）など。他に
「関・閣・簡」。もんがまえの字形を整えるポイントは、
左右にある「日」形部の大きさをそれぞれの背の高さ
の三分の一程度に書く。

左右の横画を同一線上に平行・等間隔に並べる。

内部に入る形は左右の縦画からはみ出さないように組
み立てる。



ところで、もんがまえの左右の間隔を広くあけた形を
大学生の書き文字に多く見ることが出来ます。もんがま
えの最近の傾向として見逃せません。左のように中央部
がぼっかりあいて間が抜けた感じの字形になるので注意
が必要です。



そもそももんがまえは構造的には左右の組み立てとも
とらえられます。偏とつくりによる文字にこの傾向が強
く、それがもんがまえにも影響しているものと考えられ
ます。横書き書式が増え、左右の組み立て構造にゆがみ
が生じていることの証といえるのではないでしょう。